



ガイドラインを一部変更しました

新型コロナウイルス感染症防止策を強化しましたので、九月五日(土)よりガイドラインを一部変更しました。

- ◇語り部ホール収容人数 三十人↓ **五十人**
- ◇映像ホール収容人数 八人↓ **十人**
- ◇滞在時間 五十分以内↓ **六十分以内**

入館の際は、必ずマスク着用、手指の消毒、体温計測、来館者カードの記入など、感染防止に努めておりますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い致します。

報 告 館 資 料 里 鶴 夕
 令和2年9月10日
 第 117号
 発行 夕鶴の里
 TEL 47-5800

アクリル板が常設されました!

新型コロナウイルスの感染防止の為語り部ホールに設置されていた透明シートが、この度、しっかりとしたアクリル板になり、常設されました! !



★サイキョー大型ファンもあわせ機能付にリ部ホルと映像ホーに設置されました! !



南陽8ミリクラブ様より

DVDを頂きました

七月二十八日、南陽8ミリクラブ様より、「映像で残すふるさと南陽市の記録」のDVDを十三枚頂きました。夕鶴の里民話シリーズや平成六年に開催された「語りの祭り」、平成十一年に開催された「北日本語りフェスティバル」他、「楽しい民話の世界」などの作品も貴重な映像ばかりです。有効に活用させて頂きました。ありがとうございます。

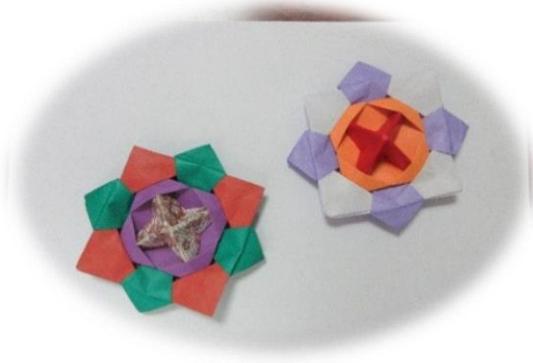


夕鶴の里

「昔のあそび」

- ◇日時 九月二十六日(土) 十時〜
- ◇場所 夕鶴の里
- ◇内容 折り紙でこまを作って遊ぶ!
- ◇定員 十名(要予約)
- ◇電話 47-5800

夕鶴の里まで



※マスク着用での参加をお願い致します。

「鶴の恩返し」と珍蔵寺

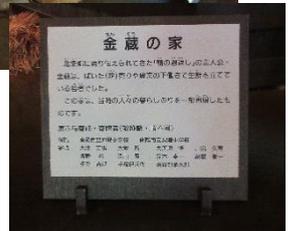
“むがくしあつたけずまなあく”で始まる鶴布山珍蔵寺に伝わる「鶴の恩返し」は、古文書の「鶴城地名選」の中に記されており、寺の名前で「鶴布」は鶴が恩返しに羽で織った布、そして「珍蔵」は、鶴を助けた語り主人公の名前に由来しています。夕鶴の里の資料館の一階に、「金蔵の家」が再現されており、当時の生活の様子を感じ取ることができます。

「鶴の恩返し」と珍蔵寺

鶴布山珍蔵寺は、仙台伊達家と縁の深い曹洞宗輪王寺第二世極堂宗三和尚によって寛正元年（一四六〇年）に開山された古刹です。文化元年（一八〇四年）に編まれた「鶴城地名選」にも記されているように、「鶴の恩返し」が開山縁起として伝承されてきました。輪王寺の唯一の末寺、民話との結びつきなど、寺の生いたちは謎に包まれています。四季折々の境内の美しさは今も昔も変わりません。

夕鶴の里資料館「金蔵の家」にて

金蔵の家【資料館一階】の中に記されております。



お寺の梵鐘にも「鶴の恩返し」が浮彫されています。



本堂の入り口に「鶴布山」と書いてあります。

珍蔵寺は、安永5年（1776年）に焼失しましたが、その後文化4年（1807年）に再建され、今のお寺になっております。